

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1単位・30時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	小児看護学概論			授業形態	講義
担当教員	諏訪 大樹		実務経験	○(看護師)	
授業概要	<p>小児看護の対象である子どもについて理解を深めるための成長・発達の特徴を学ぶことは欠かせない。さらに、子どもを育む家族においても看護師と一緒に子どもの発達を支援し、子どもにとっての最善のケアを提供できるように家族とともに取り組むことが重要である。また、子どもをとりまく環境・小児看護も変化している。小児看護の変遷を知り、現代の小児看護の役割を理解する。そして、子どもは年齢や、健康レベルに関わらず、権利を有し、行使することができる主体である。よって、子どもの人権を守り、子どもの健やかな成長・発達を促すための看護を学習する。</p>				
学習目的	<p>小児看護学の概念と対象を理解し、小児看護の目標と役割を学ぶ。さらに、小児期の成長・発達の特徴と現代の家族の状況や保健・医療・福祉の動向を理解し、子どもの健全な成長・発達を促進するための看護を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の理念と看護の目標や役割を理解する。</li> <li>2. 子どもの成長・発達を理解する。</li> <li>3. 小児期の特徴に適した生活と養育および看護を理解する。</li> <li>4. 子どもと家族を取り巻く社会環境を理解する。</li> <li>5. 子どもが尊重される存在であり最善の利益を守るための考え方を理解する。</li> </ol>				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2 小児看護の特徴と理念(小児看護の目ざすところ・小児と家族の諸統計 小児看護の変遷)</li> <li>3. 4 小児看護の特徴と理念(小児看護における倫理)</li> <li>5. 6 小児看護の特徴と理念(小児看護の課題)</li> <li>7. 8 子どもの成長発達(成長・発達とは・成長・発達の進み方 (成長・発達に影響する因子)</li> <li>9.10 新生児(形態的・身体生理の特徴・各機能の発達・新生児の養育および看護)</li> <li>11.12 乳児(形態的・身体生理・感覚・知的・運動・情緒・社会的機能の特徴)</li> <li>13.14 乳児(乳児の養育および看護)</li> <li>15.16 乳児の1年間の発達について(グループワーク、発表)</li> <li>17.18 幼児(形態的・身体生理・感覚・知的・運動・情緒・社会的機能の特徴)</li> <li>19.20 幼児(幼児の養育および看護)</li> <li>21.22 幼児の基本的な生活習慣の確立について(グループワーク、発表)</li> <li>23.24 学童(学童の特徴・学童の養育および看護)</li> <li>25. 26 思春期・青年期の子ども(思春期・青年期の子どもの特徴と看護)</li> <li>27. 28 家族の特徴とアセスメント(子どもにとっての家族とは・家族アセスメント)</li> <li>29. 30 子どもと家族を取り巻く社会(児童福祉法・母子保健・医療費の支援・ 予防接種・学校保健・食育・特別支援教育・臓器移植)</li> </ol> <p>終講試験</p>				
評価方法	筆記試験(100%)				
教科書	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 第14版 医学書院 2024				
参考図書 等	ナーシンググラフィカ 小児看護学 小児の発達と看護 メディカ出版				
備考					